

# 平和教育の ともしびを 子どもたちと

## 学校全体で取り組んだ ある中学校の教育実践

日時 3月26日(火)  
午後6時～7時半ごろ

場所 都教組杉並支部事務所  
(杉九小 西門の左)

報告 守屋 彰文 さん

大田区での青年部時代にハワイの戦跡巡りをして、「平和教育」のレポートを都教組の若者向け教研(げんき一泊)で発表。

杉並でも、栄養職員部との共同企画で「フードマイレージ」について、生徒と学んだことを都教研に発表、また「進路指導に」についての取り組みを紹介するなど、杉並支部の教研活動を盛り上げてきた方です。

1954年のビキニ環礁での水爆実験をきっかけに、原水爆禁止の署名を始めたのは、杉並の魚屋さんのおかみさんたち！瞬く間にたくさんの署名が集まり、原水爆禁止の運動が大きく広がったのだそうです。

そうした区民の皆さんの平和への思いが集まって、毎年、夏には阿佐ヶ谷の産業会館などを会場にして「すぎなみピースフォーラム」が行われています。

私たち教職員も、折に触れては平和について考える教育活動に取り組んできました。しかし、近年、教職員の勤務状況が厳しくなり、ゆとりもなくなって、以前のような取り組みが少なくなっているように思います。

今回は、そんな状況の中、1年生の「平和ってなに?」、2年生の「校外学習」や「被爆者のお話を聞く会」、3年生は「長崎への修学旅行」…など多彩な取り組みを無理なく、進めてきた中学校の貴重な実践を報告していただきます。